

編集 後記

編集顧問 町田 豊平
編集委員 郡 健二郎

小川 秋實 秋元 成太 村井 勝
藤岡 知昭 大家 基嗣

宴会の余興として、盛岡市指定無形文化財の古武道「諸賞流・和（やわら）」を思いつきました。これは、「柔」ではない「和」で、現代の相撲、柔道、剣道、空手などの原点ではないかと思いますが、進化したスポーツとは明らかに異なる武道で、危険な技と精神鍛錬の合体したものです。

「諸賞流・和」の成り立ちを紹介します。起源は古く1,000年以上前、藤原鎌足を開祖とする「狐伝流」に遡ります。鎌足の没後150年間、この武道の伝承が途絶えていましたが、後の征夷大將軍・坂上田村麻呂が清水観音に参籠した際に「藤原鎌足の創立した和（狐伝流）を夢想の中に受け継いだ」との言葉より復興され、銘を「夢想観世流」と改銘させました。この「夢想観世流」は、源頼朝により「諸賞流」と命銘されました。すなわち、鎌倉開幕のお祝いの大相撲大会において、並み居る強豪を寄せつけず勝ち進んできた法師力士の大男を、小柄の武士が、組み合った一瞬に何度も投げ飛ばしたと伝えられています。この完勝した者こそ「夢想観世流」27代師範の毛利宇平太国友であり、観戦した頼朝を始め家臣諸侯はみな国友の「和」の技を高く賞賛し「諸賞流」の銘を授けました。ここに、「諸賞流」の初代師範の誕生となったわけです。

時代は進んで江戸中期、盛岡藩に、医家出身の岡武兵衛庸重が居りました。彼は生来、武術武道を好み、研鑽の場を諸国に求めました。その道中、鎌倉に隠棲していた観世流46代師範・石田辰之進定政に巡り会い、「和」の修行に励み奥義を極め印可を受けました。庸重は、後に、郷里に戻り盛岡藩6代目藩主・南部利幹に召抱えられ、諸賞流21代師範としてこの「和」を盛岡の地に根付かせることとなりました。以上が68代師範・高橋厚好に教えてもらった諸賞流の由来

です。この「和」は、蹴り技と肘打ちを多用することを特徴としています。刀や槍に対して素手で攻撃・防御する技や大勢の相手に対する戦闘方法など激しい内容の武道であり、物事に動じない精神的鍛錬が不可欠です。盛岡藩のご法度では、その強さより藩外の者への「諸賞流」の教授を禁止し、その組み技があまりに危険であることより他流試合を固く戒めた門外不出の「御留め武術」と位置付けていました。現在でも、甲冑武者の闘いの際に首を取る作法・技を含め、多くの技が密かに伝承されています。

宮沢賢治の「雨にもまけず」や高村光太郎「牛」とともに、岩手人の頑固さを理解していただく資料としていただければと思います。

さて、今月号の総説は、埼玉医大の朝倉博孝先生の「男性の尿失禁」です。ご指摘のごとく腹圧性尿失禁の標準治療は人工括約筋埋没手術であり、一部の病院ではすでに高度医療の認可を受けていますが、高齢者では、その高価格であることや陰嚢内バルブの作動操作が可能かが心配です。男性の尿失禁の治療は大きく変わる可能性があります。手術手技は、「埋没陰茎・翼状陰茎に対する手術」が3編です。小児診療において遭遇する機会が多い疾患ですので、各著者の工夫・こだわりが参考になります。セミナーは国立がんセンター・藤井博史先生の「PET 検査の臨床的有用性と問題点」です。「検査の原理や投与薬に関する正確な知識」は、PET 検査結果の正しい評価に重要であるとの主張は同感です。その他、興味ある原著1編と症例報告が4編です。

今週末はサンフランシスコでのAUA総会です。参加される先生方の無事な旅行を祈念します。

(藤岡知昭)

臨床泌尿器科 (第64巻 第8号) (通巻766号)

2010年7月20日発行 (毎月1回20日発行)

定価 2,835 円 (本体 2,700 円+税 5%)

2010 年 年 ぎ め 予 約 購 読 料 41,360 円
電 子 ジ ャ ー ナ ル 関 覧 オ プ シ ョ ン 付 53,800 円
増 刊 号 を 含 む 13 冊, 税 込, 送 料 小 社 負 担

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金 原 優

〒 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電 話 本誌編集室直通 (03) 3817-5709

(担当: 登・安部)

販 売 部 直 通 (03) 3817-5659・5660

フ ァ ク シ ミ リ (03) 3815-7802

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ 医学書院ホームページ (インターネット) は Web <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。

・ 「臨床泌尿器科」のページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinpi/> です。

・ **JCOPY** <創出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、創出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。